

事業名	姉妹友好交流事業費			調書番号	85
細事業名	外国人留学生相互派遣事業費	財務コード	111004		
担当部課室	観光 部 国際観光交流 課 国際交流 担当 (内線)	4412			

I 事業の概要

実施期間	始期 S59 年度 ~ 終期 年度						
実施主体	県(直営)、補助(姉妹友好地域の留学生)						
目的	<table border="1"> <tr> <td>だれ(何)を対象に</td> <td>その対象をどのような状態にして</td> <td>結果、何に結びつけるのか</td> </tr> <tr> <td>本県との姉妹友好地域の留学生</td> <td>テーマに基づいた研究と語学の研修を行うとともに、国際交流活動に参加してもらうことにより、今後の国際交流の架け橋となる人材が育成されている。</td> <td>国際交流活動の促進</td> </tr> </table>	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか	本県との姉妹友好地域の留学生	テーマに基づいた研究と語学の研修を行うとともに、国際交流活動に参加してもらうことにより、今後の国際交流の架け橋となる人材が育成されている。	国際交流活動の促進
だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか					
本県との姉妹友好地域の留学生	テーマに基づいた研究と語学の研修を行うとともに、国際交流活動に参加してもらうことにより、今後の国際交流の架け橋となる人材が育成されている。	国際交流活動の促進					
内容	<p>本県留学生を大願民国忠清北道及びアメリカ合衆国アイオワ州に派遣するとともに、忠清北道、アイオワ州及びインドネシア共和国ジョグジャカルタ特別州の留学生を本県の大学に受入れ、テーマに基づく研究等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 両地域の学生等から広く公募を行い、各々の大学において指導教官の指導のもとテーマに基づいた研究を行い、今後の国際交流の架け橋となる人材を育成する ・留学生数 派遣留学生(2人) 受入留学生(3人) ・期間 派遣留学生(1カ年) 受入留学生(1カ年 ジョグジャカルタ特別州のみ6ヶ月) ・受入機関 派遣留学生(忠清北道内清州大学等、アイオワ州内デモンコミュニカレッジ) 受入留学生(山梨県立大学) 						

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
活動指標	派遣・受入留学生数	目標	5	5	4	4	4	5	1
		実績(見込)	5	5	4	3	2	1	
		達成率	100.0	100.0	100.0	75.0	50.0	20.0	
		達成区分	b	b	b	c	c	d	
成果指標	派遣・受入留学生による提出研究報告書数	目標	5	4	4	4	4	5	1
		実績(見込)	5	4	4	3	2	1	
		達成率	100.0	100.0	100.0	75.0	50.0	20.0	
		達成区分	c	c	d	d	c	d	
決算(予算) 単位:千円		3,035	3,234	2,780	2,861	2,769	3,102	550	

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	c	評価	姉妹関係にある大韓民国忠清北道に派遣し、清北道25周年記念行事などの姉妹友好地域等の国際交流行事の際、通訳補助業務などに従事することにより事業が円滑に実施された。
成果指標	b		

- ・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
- ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input type="checkbox"/> 必要性が高い	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	留学生を受け入れることで、本県と交流のある海外の自治体との関係を強化する。		
見直しの余地	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()		
その他	説明	忠清北道については、両県道における留学需要が減少しており、またアイオワ州においては大学間の協定に基づく留学制度が確立されたことから、留学生相互派遣事業を見直す余地がある。		
見直しの必要性	有	忠清北道及びアイオワ州への留学生の相互派遣については、それぞれの事情を鑑み、終了することが望ましい。		

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

縮小	説明	アイオワ州及び忠清北道との留学生相互派遣は終了し、ジョグジャカルタ特別州からの留学生受入のみ実施する。
----	----	---

- ・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。